

「キリストと共に生きること」

ピリピ 3:7-11

2017.09.17 HKJCF

アレックス タン

1

ピリピ 3:7-11

3:7 しかし、私にとって得であったこのようなものをみな、私はキリストのゆえに、損と思うようになりました。

3:8 それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、いっさいのことを損と思っています。私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それらをちりあかたと思っています。それは、私には、キリストを得、また、

3:9 キリストの中にある者と認められ、律法による自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基づいて、神から与えられる義を持つことができる、という望みがあるからです。

3:10 私は、キリストとその復活の力を知り、またキリストの苦しみにあずかることも知って、キリストの死と同じ状態になり、

3:11 どうかして、死者の中からの復活に達したいのです。

2

概観

パウロはダマスコの道で、イエス様と出会ってからの価値観の変化、迫害者から宣教師に変わった理由、そしてクリスチャンとしての信仰の姿勢を一緒に学びたい。

アウトライン

1. キリストのゆえに損 V7
2. キリストを知ること V8-V9
3. キリストの復活と苦しみ V10-V11

3

「キリストのゆえに損 V7」

私にとって得であったこのようなもの: 割礼、イスラエル民族、ベンヤミン族、ヘブル人、パリサイ人、熱心さ、正しさ(V5-V6)。学歴、社会の立場、仕事の成功、世の富、教会の奉仕など。

キリストのゆえに: 人生の中身を吟味する基準。自己中心→キリストを中心とするライフスタイル。与えられた賜物を御国のために用いる; 大事な家族を犠牲にする生活; 永遠に残るものへのあこがれ; 再献身のチャレンジのタイミング。

損と思うようになった: 損=召命を全うしない人生。その確信は今でも変わらない。

4

「キリストを知ること V8-V9」

キリスト・イエスを知っていることのすばらしさ: イエス様に深い関心を持っていただけるうれしさ。日本、奨学金、教会、結婚、早産、就職、複数の牧師との出会い、転勤、不登校、夫婦関係など。すべてを備え、すべてを益に変えて下さる神様(伝道者 3:11; ローマ 8:28)。

キリストのためにすべてのものを捨て: 世の楽しみは夫婦セミナー、国際結婚カップル、若い世代、広東語礼拝、奉仕を通しての恵みと比較できない。

自分の義: 自分の正しさや立派さ→神の子のID。イエス様を信じる信仰だけが大事。

5

「キリストの復活と苦しみ V10-V11」

復活の力を知る: 罪と死から解放される; キリストにある命に入れていただく。クリスチャンとして毎日この力が必要; 信仰生活を通して体験する。

キリストの苦しみにあずかる: GK: koinonia=分かち合う。クリスチャンとして要求される歩み; 歴代の先輩たちと同じ歩みができる特権(使徒 5:41); キリストのように謙る人生。福音のために、御国のために自分を捧げていく、目的主導の生き方。

どうかして、死者の中からの復活に達したい: 不完全で弱い存在; 再臨されるまで復活の力を求めつづけていく; 何度も生まれ変わる体験。

6